



堺市上下水道局マスコットキャラクターすいちゃん

すいちゃんからのおたより

内水氾濫特集

大雨内水氾濫から都市を守る機能

近年、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨が増えています。こうした大雨による内水氾濫や浸水被害を防ぐため、雨水を速やかに排水するための様々な設備を整備しています。

大雨・内水氾濫から
都市を守る機能/
上下水道局HP



下水道管(雨水管)

下水道管には、汚水管と雨水管の2種類があります。生活排水を水再生センター(下水処理場)へ送る汚水管に対し、雨水管は、道路の側溝や雨水ますから集めた雨水を河川や海へ流すための管路です。地中に埋まっているため普段は見ることはありませんが、都市に降った雨を効率よく排水し、道路や住宅地への浸水を防ぐ重要な役割を担っています。



▲実際の下水道管の内部

大雨から都市を守るためには、こうした機能に加え、ご家庭での備えや、命を守るための個人の適切な行動がとても重要です。

ポンプ場

大雨になると、雨水管だけでは排水しきれない場合があります。その際、地盤の低い場所などで活躍するのが雨水排水ポンプです。大型のポンプが大量の雨水をくみ上げて河川や海へ排水します。



▲古川下水ポンプ場の大型ポンプ
このポンプ一台で、1分間に25mプール約4杯分の水を排水できます。

ご家庭でできる浸水対策

浸水は、排水機能の低下や雨水の流れが妨げられることによっても発生するため、日頃からの備えが大切です。ご家庭でも、雨水がスムーズに流れる環境を整えたり、いざという時のために土のうなどの資材をあらかじめ準備したりすることで、浸水を防ぐことができます。この機会に、ご自宅の周りをチェックしてみましょう。

チェックポイント

- ☐ 雨どいは詰まっていますか？
- ☐ 敷地内の排水ますや側溝に落ち葉や泥などが溜まっていますか？
- ☐ 側溝の上に流れの妨げになる物を置いていませんか？
- ☐ 土のうや止水板を準備していますか？



▲側溝を掃除する様子



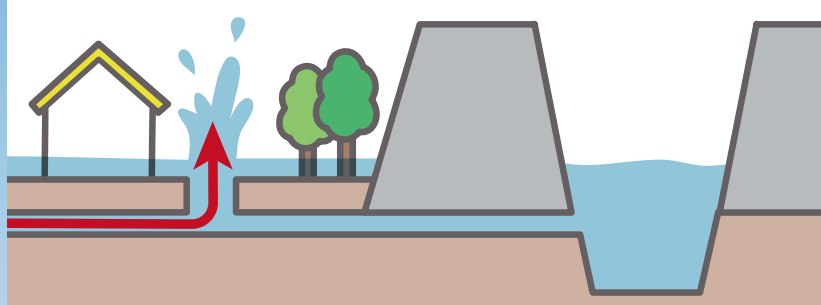
▲土のうを積み上げた様子

内水氾濫って？

内水氾濫への備え
／上下水道局HP



内水氾濫のイメージ



外水氾濫のイメージ



内水氾濫とは、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨などの際に、下水道や道路の側溝などの排水能力を超えることによって、河川や海に流す前に市街地などで雨水があふれ、道路や住宅などが一時的に水につかることです。一方で、外水氾濫とは、雨を原因とした被害としては同じですが、雨が河川に流れ込んで河川の水位が上昇し、堤防などを越えて市街地に流れ込む被害のことを言います。

大雨を処理する排水機能は、国の基準で時間雨量50mmから60mmの降雨を対象にしていますが、2026年8月に千葉県で発生した豪雨のように、時間雨量100mmを超えるような雨も観測されており、全国各地で内水氾濫が起こり大きな被害が発生しています。堺市でも、2022年9月に時間雨量99mmの雨を観測し、これまでに市内で降った最大の雨量を更新しました。

内水氾濫が発生する要因の一つに、表紙で紹介した「大雨内水氾濫から都市を守る機能」が本来の力を発揮できないことが挙げられます。具体的な事例として、側溝に落ち葉やごみが溜まっていると、雨水を排水する流れが滞ってしまい水があふれます。「ご家庭でできる浸水対策」をチェックし実践するほか、防災マップなどを確認し、適切な避難行動を日頃から考えておきましょう。

気象庁による防災気象情報が変わりました！

▽新たな防災気象情報の区分

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	取るべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	直ちに安全確保
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は避難を始める
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難方法や場所を確認
警戒レベル1	早期注意情報				災害情報をチェックする

2026年5月から、気象庁が発表する
防災気象情報の名称や区分が新しくなりました。

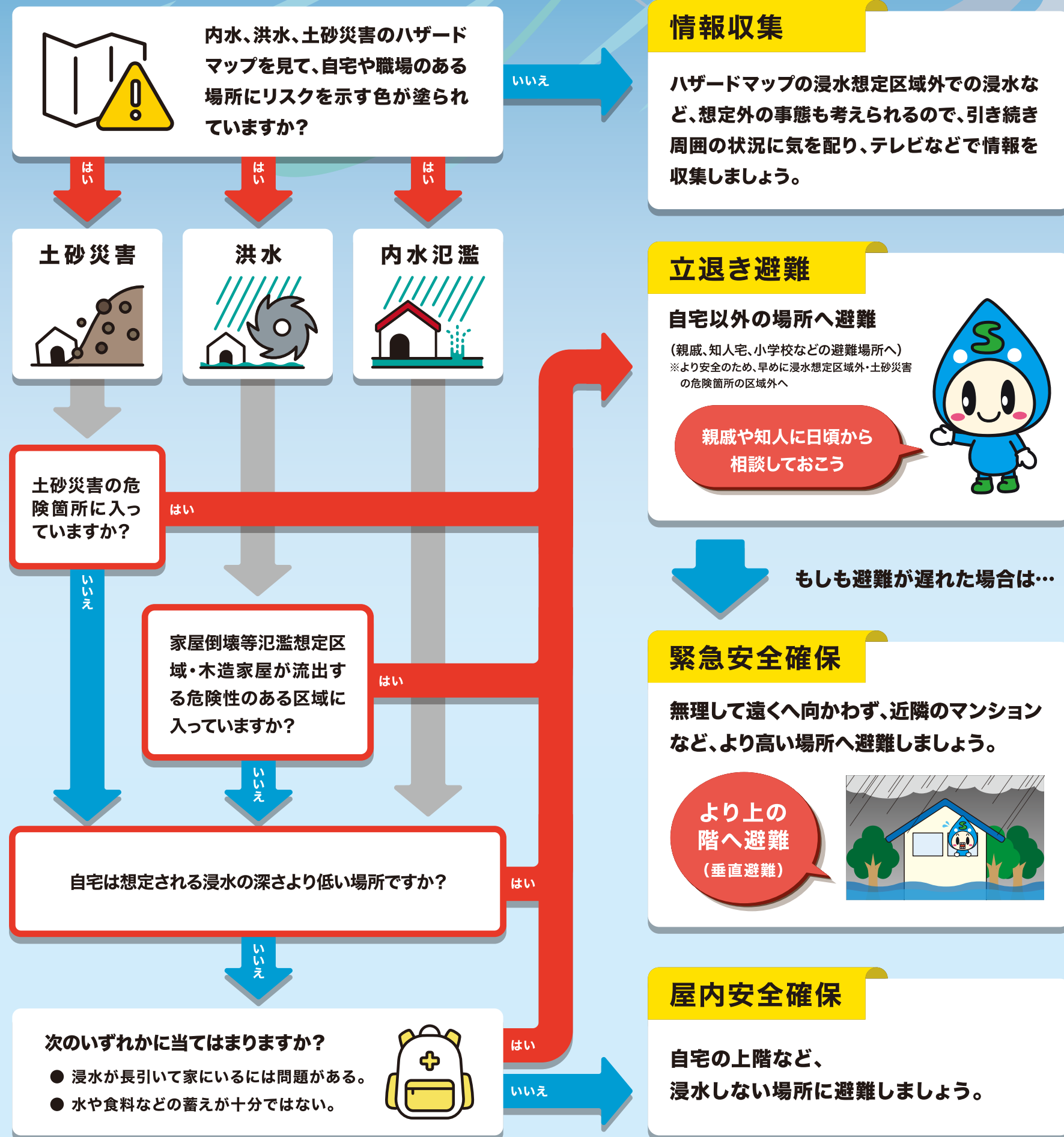
主な変更点

洪水に関する情報が見直され、これまでの「洪水警報・注意報」は廃止されました。河川のうち、堺市では大和川の氾濫に関する情報は「河川氾濫」の区分に整理されています。（それ以外の石津川や西除川に関する情報は大雨の区分に含まれます）

詳しくはこちらをチェック▶
新たな防災気象情報について
（気象庁HP）



大雨時の行動フローチャート



数日前

市では大雨の時に水を一時的に貯める施設（雨水調整池）を、晴天日に空にする等、準備をしています。市民の皆様は、テレビやスマートフォン等で、大雨等の情報をこまめに確認しましょう。「警報」や「線状降水帯」の予測が出たら特に注意が必要です。防災マップでリスク等を事前に確認し、懐中電灯や飲料水等も準備しておきましょう。また、家の周りの側溝や排水口が詰まっていないか確認し、清掃しておく、雨水があふれる被害を減らすことにつながります。

当日

大雨が降ると、雨水ポンプ場が動いて雨水を川や海へ排水することで、道路や住宅への浸水を防ぎます。また、川の水位が急になることもあるため、スマートフォン等でリアルタイムに水位等を確認することが大切です。

被害発生（発災直後）

大雨で下水道管等が雨水を排水しきれないと、道路や住宅が浸水することがあります。地盤の低い場所は特に危険なので早めに避難しましょう。屋外への避難が難しい場合は、建物の2階以上への避難も有効です。車での移動を控え、地下道（アンダーパス）も危険なので、近づかないようにしましょう。

数時間～半日

停電すると、集合住宅では給水ポンプの停止等により断水する場合があります。断水した場合は、管理会社に連絡してください。断水に備えて自宅に飲料水を備蓄していると安心です。浸水した場所は、地形等の状況により、雨が止んで数時間から半日程度で徐々に引いていきます。

復旧へ

水が引いた後、市では被害状況を確認し必要に応じて浸水した箇所の消毒等を行います。

ポイント

警報や注意報は、災害の危険性を知らせる気象情報で、気象庁が発表します。

一方、「高齢者等避難」「避難指示」など、住民の皆様には行動を呼びかける避難情報は市町村が発令します。災害から身を守るためには、「気象庁の防災気象情報」と「市町村の避難情報」の両方を確認することが大切です。警報が出ているときや大雨が予想されるときは、最新の気象情報と市町村からのお知らせをこまめに確認し、早めの行動を心がけましょう。

大雨時の行動は
右のフローチャートを
チェック！

災害時の
避難所設備は
「すいちゃんからのおたより」
2025年夏号をチェック！



令和8年熊本地震に対する支援について



▲実際の応急給水活動のようす

このたびの地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

堺市上下水道局は、2026年7月28日に発生した令和8年熊本地震に伴い、2026年7月29日に応急給水支援隊として局職員と給水タンク車を派遣しました。

医療施設や福祉施設、小学校、コミュニティセンターなどにおいて応急給水活動を実施し、被災者の皆様の生活を支援しました。

今後も災害時における支援活動を通じて、被災地の一日も早い復旧・復興に力を尽くします。あわせて、その経験をもとに本市が被災した際における備えの充実に取り組みます。

災害への備え

飲料水

ペットボトルやポリタンクに水道水を溜め、災害に備えましょう。



①最初に手をよく洗います。



②用意したポリタンクまたはペットボトルを水道水で十分に洗浄します。



③できるだけ空気が残らないように容器を水道水で満たします。



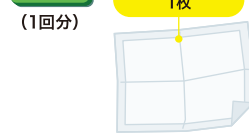
④ふたをしっかりと閉め、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に保管します。保管期間のめやす：約3日間

携帯トイレセット

携帯トイレは、市販のものを購入するほか、自分で作ることもできます。

材料
(1回分)

吸水シート
1枚



黒い
ビニール袋
1枚



防臭袋
1枚



結束バンド
1本

黒い
ビニール袋
1枚

チャック付き袋
1枚



作り方

- ① 吸水シートを黒いビニール袋に入れます。
- ② ①で作ったものと、防臭袋、結束バンドをチャック付き袋に入れます。

使い方

- ① セットから黒いビニール袋を出し、その中に用を足します。
- ② 黒いビニール袋の口を縛ります。
- ③ 防臭袋に黒いビニール袋を入れ、結束バンドで口を閉じます。
- ④ 燃えるゴミとして捨てます。

ホームページでも解説中！▶



コラム 整理整頓は防災への第一歩！

日頃の整理整頓は、実は大切な防災対策の一つです。必要なものの置き場所が決まっていれば、非常時でも持ち出すものをすぐに確認できます。また、物の散乱を防ぐことで、地震などで倒れてくるリスクを減らすことができます。さらに、廊下や出入口をすっきり保つことで避難時の動線が確保でき安全な避難につながります。普段の整理整頓が、いざという時に自分や家族を守ることに繋がります。



「今日の水質」をご確認いただけます

堺市上下水道局ホームページでは、日々水質を分かりやすく発信しています。是非チェックしてみてください！

こちらからチェック！



問い合わせ先

料金、引越、その他一般的な問い合わせ

平日 午前8時45分～午後7時
土日祝 午前9時～午後5時

お客様センター

TEL 0570-02-1132
または 072-251-1132
FAX 072-252-4132

〒591-8505
堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2

水道のお困りごと私達にお任せください。

堺市水道メーター交換事業者



堺市指定管工設備協同組合

☎ 072-245-0040

堺市堺区緑ヶ丘南町2丁2-25

あなたの街の水道屋さんは
こちらからお探しください

